



第 68 回 特別基金講演会
「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える
最新技術と動向（その2）」

主 催： 日本マリンエンジニアリング学会
協 賛： 計測自動制御学会，自動車技術会，精密工学会，ターボ機械協会，電気学会，日本エネルギー学会，
(予定) 日本ガスタービン学会，日本機械学会，日本航海学会，日本材料学会，日本船舶海洋工学会，
日本トライボロジー学会，日本内燃機関連合会，陸用内燃機関協会

脱炭素化社会の実現に向けた海運からの GHG 削減を実現するための技術開発や，自動運行等の技術開発，TBM から CBM による効率化の実現等，マリンエンジニアリング業界を取り巻く環境に対応するため，多くの技術開発が進められています。今年度の特別基金講演会では，昨年に引き続き会員の皆様に有用な情報提供を行うために，脱炭素化に向けたエンジン開発の状況，船舶として新しいパワーユニットである水素燃料電池の開発や商品化の状況についての講演，運航を支える技術の一つである船陸間通信とサービスの現状に関する講演，MEPC 80 で採択された，船舶燃料の製造や流通の過程も含めたライフサイクル GHG 排出強度のガイドラインに関する講演を 5 名の講師をお招きして行って頂きます。本年度も現地対面による聴講とともに，リアルタイムのオンライン聴講も可能となっております。奮ってご参加下さい。

- 【開催日時】 令和 6 年 2 月 16 日（金）10:30 ～ 16:15
 【開催場所】 新梅田研修センター（大阪市福島区福島 6 丁目 22 番 20 号，TEL：06-4796-3371）
 [JR 大阪駅から徒歩 10 分。または直通シャトルバスで 5 分]
 【開催方法】 ハイブリッド方式（会場での講演 & Live 配信）
 【申込方法】 申込締切日 令和 6 年 2 月 9 日（金）参加者は，必ず事前登録してください。
 JIME ホームページ(<https://www.jime.jp>)から[イベント申込み]→[第 68 回特別基金講演会「海運のカーボンニュートラル及び船舶の運航を支える最新技術と動向（その2）」]→[参加登録]→[このイベントに参加をしたい場合は，ログインまたは新規会員登録を行ってください]→[ログイン(ID, パスワードを入力)]をクリックし，
 (1) 会員登録済の方は[ログイン(ID, パスワードを入力)]をクリックし，お申し込みください。
 (2) ID, パスワードをお持ちでない方は，最初にイベント会員として ID, パスワードを登録してから，上記(1)の手順でお申し込みください。
 【参加登録料】 正会員・協賛学協会会員 8,000 円，名誉会員・永年会員・シニア会員 6,000 円，学生会員 1,000 円，維持会員所属の非会員 12,000 円，非会員 16,000 円（消費税含む）
 学会の振込口座に振込願います。（予稿集 1 冊を含む。但し，学生会員には予稿集なし）
 【CPD ポイント】 会員の方は，会員カードをご持参ください。学習ポイント：10 ポイント

プログラム

10:30-10:35	開会挨拶	企画委員会 委員長 石崎 昌幸（阪神内燃機工業）
10:35-11:30	脱炭素燃料向けエンジン開発の動向	九州大学名誉教授 高崎 講二 氏
11:30-12:20	ヤンマー船舶水素燃料電池システムの商品化	ヤンマーパワーテクノロジー 平岩 琢也 氏
12:20-13:30	昼休憩	
13:30-14:10	船用 DX を実現する FOP クラウドサービス	古野電気 住田 翔太 氏
14:10-15:00	Starlink 海上利用向けサービスの活用	KDDI 山下 和 氏
15:00-15:20	休憩	
15:20-16:10	IMO GHG 削減戦略及び船用燃料ライフサイクル GHG 強度ガイドライン	日本海事協会 三宅 竜二 氏
16:10-16:15	閉会挨拶	企画委員会 副委員長 佐々木 秀次（東京海洋大学）

注）本プログラムは予告無しに変更になることがあります。